

同
矢田郡藍野村よの年家とくさの大同年中し建
家也人壽とくさりて意木の竹採とを求て大同竹といひ當
既より備よ百姓の家よのくみ歳の星霜と経く禮をたえ
さる事一古今をたし稀なる名譽るれくまよおと

心櫃村羊甲の事

同
有馬郡心櫃村よのきりて羊甲といふ事減るなり
出生の小兒頭身前よ發と置く後を利と四例とす
ふれを解ひて利と家小兒有しる危難よ逢く後命を
と後也れく四例よいふをり家今小兒の月代を嫌ふ

事一の甚かぬ位とけりへきとて修よ置ると羊甲利と
いひるなりともは心櫃村の古例なる事一はとす

亥の子孫の事

同
能勢郡木代村の店屋門を亥といふ名なり金浦三丁四方よ
四面葺垣といふかたも毎年三ツの亥の日よ 朝庭へ
と献とす始神宮切石三韓帰朝の所時より始里今年建
旧例を刪とる 代々の 天子よ奉りて子孫も今よ血因
絶とすしお漬より神よ月か度家柄之又亥の子孫の事
併 兼小豆と合とす是とむし半搦と色爲紅之長とす

